

事務事業評価シート

事務事業コード	001000	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後子ども教室推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成19年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	放課後子ども教室推進事業費(学校教育課)		予算事業コード	01-09-04-02-17-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態 にするために)	小学校区において放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	小学校の空き教室や小学校近隣の公共施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て子ども教室を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度別計画		①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携
年度別実績		①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・久松小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小・久松小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・久松小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(久松小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・東郷小・米里小・久松小) ※米里小は設置のみ ②放課後児童クラブとの連携(久松小)
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	13,452	13,554	14,060	15,535	13,368
	直接経費 A	6,233	6,235	6,817	8,345	6,297
	国・県	4,470	4,089	2,101	2,217	1,827
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,763	2,146	4,716	6,128	4,470	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]放課後子ども教室設置数	箇所	目標	3
			実績	4	4	5	5	4
	(指標の説明) 放課後子ども教室の設置されている小学校数(基準値は平成26年度時点)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学務係 0857-30-8411</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P186(教023)</p> <p>【事業の概要】 放課後や週末等における地域の子どもたちの安全・安心な居場所を確保するとともに地域参画を得て勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。</p> <p>【事業の成果】 (対象)小学生 (児童数)平成30年度 神戸20人、明治34人、東郷25人、米里37人、久松47人 令和元年度 神戸19人、明治34人、東郷29人、米里44人、久松47人 令和2年度 明治29人、東郷27人、久松40人</p> <p>【今後の課題・方向性】 児童クラブが開設できない小学校区で、地域の実情に応じて子ども教室の開設を支援する。また、児童クラブが開設されている小学校区については、地域の実情やニーズにより子ども教室の開設を検討する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	【KPI】放課後子ども教室設置数	133%	80%	100%	100%	80%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

現在開設している校区で継続して開設すると共に、子ども教室の開設要望があれば検討する。

事務事業評価シート

事務事業コード	001200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成21年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	2,940人				
予算	予算事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費			予算事業コード	01-09-01-03-84-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校及び義務教育学校前期課程の児童
意図 (どのような状態 にするために)	豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人の温かさにふれることにより、児童にふるさとのよさを実感させる。
手段 (どうするのか)	佐治町の民家での農林家暮らし体験を中心としながら、林業体験や和紙づくり体験などの自然体験・文化体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動
年度別実績	①市内25校が実施	①市内24校が実施	①市内13校が実施	①市内17校が実施	①市内15校が実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	19,961	19,222	15,403	18,601	12,832
	直接経費 A	12,742	11,903	8,160	11,411	5,761
	国・県	0	2,917	1,943	2,588	0
	地方債	12,700	8,900	6,200	8,800	5,700
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	42	86	17	23	61
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	農山村生活体験活動の実施校数	校	目標	25
	(指標の説明) 農山村生活体験活動の実施校数		実績	25	24	13	17	15
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】児童生徒支援係 0857-25-3060</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P181(教014)</p> <p>【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性を育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人の温かさを心や体に刻み込む原体験となることを期待して実施する。</p> <p>【事業の成果】 佐治町内で小学生が2泊3日、1泊2日の体験活動を行う。農林家暮らし体験、林業体験、郷土料理づくり体験、魚のつかみどり体験、和紙づくり体験、星空観察、座禅体験、座禅体験、佐治谷話し など 平成30年度 小学校13校 8,160千円 令和元年度 小学校17校 11,411千円 令和2年度 小学校15校 5,761千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 中山間地域の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していくため、今後も計画的に実施していくことが大切である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	農山村生活体験活動の実施校数	100%	92%	48%	61%	52%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、体験活動を中止したため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>本市の豊かな地域資源を活用した教育活動を支援していくため、本事業は継続していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	自立と創造の学校づくり推進事業費		予算事業コード	01-09-01-03-36-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	市立小・中・義務教育学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	
年度別実績		①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	26,350	24,839	25,576	26,834	26,619	
	直接経費 A	19,131	17,520	18,333	19,644	19,548	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	19,131	17,520	18,333	19,644	19,548
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	実施学校数	校	目標	62	62	58	58	56
			実績	62	62	58	58	56
2	(指標の説明) 計画書に基づいて特色ある取組を実施した小・中・義務教育学校数	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P184(教020)</p> <p>【事業の概要】 地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育理念や教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。この事業は、そのような学校経営を後押しするために、学校長裁量の予算を拡充し、学校の創意工夫、自主的な取組に関して、各学校が企画立案を行い、教育委員会が評価・査定を行った上で、必要な予算を措置する。</p> <p>【事業の成果】 基本予算による事業 各学校が企画立案を行い、自主的な取組を行うことができた。 特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのため、学校や地域の実態に応じた取組を地域と連携して行うことができた。 平成30年度 18,333千円 令和元年度 19,644千円 令和2年度 19,548千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、各学校及び地域の実情に応じた特色ある学校づくりが進んでいる。今後も各学校が自主的・自立的な学校経営を行うことが出来るよう本事業を継続していく。 その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	実施学校数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本事業により、創意ある教育活動が推進されており、各学校及び地域の実情に応じた特色ある学校づくりが進んでいる。今後も各学校が自主的・自立的な学校経営を行うことが出来るよう本事業を継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学力向上推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	2,940人		
予算	予算事業名	魅力と徹底の学力向上推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-52-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小・中・義務教育学校児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	児童生徒個々が確かな学力を身につける。
手段 (どうするのか)	基礎学力の定着と学力の向上に向けた全市的な施策を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業
年度別実績	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	17,114	17,133	11,413	12,021	21,376
	直接経費 A	9,895	9,814	4,170	4,831	14,305
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	9,895	9,814	4,170	4,831	14,305
	一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	回	目標	3100
	(指標の説明) 地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数		実績	2628	2800	2462	2476	2258
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P182(教016)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>(1) 魅力ある算数・数学等実践推進事業 主体的に学びに向かう子どもを育成し、学力の向上を図るため、「魅力と徹底」をキーワードに、「ま・な・び」の視点を生かした魅力ある授業づくりについて研究する。</p> <p>(2) 基礎学力定着支援事業 基礎学力定着支援者を配置し、放課後・長期休業を利用して児童生徒の基礎学力の定着を図る取組を実施する。</p> <p>(3) 鳥取市共通学力調査 小・義務教育学校で「学力の伸び」を測定し、中・義務教育学校で「学習の到達度」を測定する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 魅力ある算数・数学等実践推進事業 令和元年度：17中学校区拠点校 令和2年度：3中学校区(北中学校区・高草中学校区・千代南中学校)</p> <p>(2) 基礎学力定着支援事業 平成30年度：支援回数2,462回 支援員延べ184名 令和元年度：支援回数2,476回 支援員延べ138名 令和2年度：支援回数2,593回 支援員延べ131名</p> <p>(3) 鳥取市共通学力調査 令和2年度：小・義務教育学校(前期)2、3年生 国語・算数 中・義務教育学校(後期)1～3年生 国語・数学・社会・英語・理科</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>鳥取市共通学力調査等の結果を踏まえ、「魅力と徹底」をキーワードにしたさらなる授業改善、定着支援に努める。 その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	85%	90%	85%	85%	81%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一部の学校で実施することができなかった。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>児童生徒の学力を継続して把握し、「魅力と徹底」をキーワードにしたさらなる授業改善、定着支援に努める必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001600	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	未来のとっとり教育創造事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 内容	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	未来のとっとり教育創造事業費	予算事業コード		01-09-01-03-36-08	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	指定中学校・指定中学校区
意図 (どのような状態 にするために)	次代を見据え、広い視野に立って心豊かにたくましく生き抜く子どもを育成するために、研究課題とパイロット校(校区)を指定して教育のあり方を研究実践する。
手段 (どうするか)	先進実践の取り組みを推進し、広く全市にその成果を還元する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	9,590	9,442	8,337	8,523	7,423
	直接経費 A	2,371	2,123	1,094	1,333	352
	国・県	0	628	200	162	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,371	1,495	894	1,171	352	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の 内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]地域創造学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	校	目標	6
	(指標の説明) <<H30にKPI見直し>> コミュニティ・スクール導入校の数		実績	8	8	10	56	56
2	学校運営協議会の実施回数	回	目標	9	20	30	174	168
	(指標の説明) 地域創造学校の運営協議会の実施回数		実績	18	45	60	179	175
3	研究授業の実施回数	回	目標	4	4	5	5	5
	(指標の説明) ICTの活用、英語教育の研究授業の実施回数		実績	5	5	5	4	3

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P180(教012)</p> <p>【事業の概要】 次世代を見据え、広い視野に立って心豊かにたくましく生きぬく子どもを育成するため、研究課題とパイロット校(校区)を指定して教育のあり方を研究実践する。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度～令和元年度 研究課題 魅力ある学校づくりによる学校不適応の解消(北・桜ヶ丘中学校区) 研究課題 社会に開かれた教育課程を実現するためのカリキュラムマネジメント - 1 家庭や地域との連携を取り入れたカリキュラムマネジメント(面影小、若葉台小、南中、桜ヶ丘中) 若葉台小は令和元年度～ - 2 プログラミング教育を取り入れたカリキュラムマネジメント(浜坂小、湖山西小)</p> <p>令和元年度～令和2年度 研究課題 午前5時間制先進実践研究事業(世紀小、浜村小) 研究課題 タブレットドリル活用学習支援研究事業(倉田小、世紀小、湖南学園)</p> <p>【今後の課題・方向性】 パイロット校が先駆的に取り組む事業の授業を公開するなどして、その他の学校にも還元することができている。今後は他事業の中で活用していくこととする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 [KPI]地域創造学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	133%	133%	167%	97%	100%
	2 学校運営協議会の実施回数	200%	225%	200%	103%	104%
	3 研究授業の実施回数	125%	125%	100%	80%	60%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、予定していた研究授業が中止となったため。年度末に事業報告会を行い、成果還元を図った。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>パイロット校が先駆的に取り組む事業の授業を公開するなどして、その他の学校にも還元することが出来、今後は他事業の中で活用していく。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001700	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特色ある中学校区創造事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	外部委託
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	2,940人		
予算	予算事業名	特色ある中学校区創造事業費			予算事業コード	01-09-01-03-36-07

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全中学校区
意図 (どのような状態にするために)	中学校区の特色ある取り組みを推進するために
手段 (どうするのか)	学校・保護者・地域で構成された推進委員会に委託

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,219	10,949	10,803	10,750	10,591	
	直接経費 A	4,000	3,630	3,560	3,560	3,520	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,000	755	3,560	3,560	3,520
一般財源	0	2,875	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	%	目標	90
			実績	90	91	89	88	89
	(指標の説明) 全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/小5~6:90%)							
2	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	%	目標	85	85	85	90	90
			実績	88	88	87	88	89
	(指標の説明) 全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/中1~3:85%)							
3	中学校区教育フォーラムの開催回数	校区	目標	17	17	17	17	17
			実績	17	17	17	17	17
	(指標の説明) 中学校区で開催する教育フォーラムの回数							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P184(教020)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>本市では、義務教育9年間を見通した指導を行うことで、学力の向上や学校不適応の解消をめざす「小中一貫教育」を推進している。全中学校区が「めざす子ども像」を設定推進体制を整えるとともに、合同研修会や児童生徒交流の実施、地域への情報発信等を行い、小・中学校が一体となって小中一貫教育を進めている。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>各中学校区が、地域や児童生徒の実態を踏まえ、特色ある取組を総合的に進め、「めざす子ども像」の実現を図るとともに、地域全体の教育力の向上につなげた。</p> <p>幼保・小・中学校の一貫した取組・学習意欲を高め確かな学力を身につける授業改善 ・学校不適応の未然防止につながる魅力ある学校づくり 等</p> <p>家庭・地域との連携による取組</p> <p>・基本的な生活習慣や学習習慣の育成のための啓発活動 ・モラルやマナー・ルールを大切にす風土(人)づくり 等</p> <p>地域の特色を生かした取組 ・地域の自然や文化、人材を生かした教育活動</p> <p>・地域フォーラム、小中合同発表会等の開催 等</p> <p>平成30年度 3,560千円 令和元年度 3,560千円 令和2年度 3,520千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>各中学校区・義務教育学校で地域や児童生徒の実態を踏まえた教育活動を推進し、学校・地域・家庭が連携し取組を進めていくことができるよう今後は自立と創造の学校・学園づくり推進事業の中で取組を進める。</p> <p>その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	100%	101%	99%	93%	94%
	2	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	104%	104%	102%	98%	99%
	3	中学校区教育フォーラムの開催回数	100%	100%	100%	100%	100%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地域・家庭が連携し取組を進めていくことができるよう今後は自立と創造の学校・学園づくり推進事業の中で取組を進める。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	その他
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	2,940人		
予算	予算事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業費			予算事業コード	01-09-01-03-26-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中学校・義務教育学校（後期課程）17校の特定学年の生徒全員
意図 (どのような状態にするために)	様々な社会体験活動を行う中で地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や自ら課題を見つけて解決していこうとする意欲、態度を身につける。
手段 (どうするのか)	中学校・義務教育学校（後期課程）の特定学年の生徒全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①職場体験活動	平成29年度 ①職場体験活動	平成30年度 ①職場体験活動	平成31年度 ①職場体験活動	令和2年度 ①職場体験活動
	年度別実績	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全中学校14校及び 義務教育学校3校(特定学年の全生徒)	①新型コロナウイルス 感染症拡大を鑑み、中止
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	9,142	9,311	9,210	9,155	7,170
	直接経費 A	1,923	1,992	1,967	1,965	99
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	1,923	1,992	1,967	1,965	99	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		生徒アンケートの肯定的な回答率	%	目標	80	80	80	80	80	
			実績	93.5	95.1	95.3	93.3	0		
		(指標の説明) 体験活動後の生徒アンケートにおける肯定的な回答率								
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】児童生徒支援係 0857-25-3060</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P181(教014)</p> <p>【事業の概要】 事業は、「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、中学校及び義務教育学校の特定学年の生徒全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間を基本とした体験活動を行う。</p> <p>【事業の成果】 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、今年度の事業は中止とした。新型コロナウイルス感染症の収束の見通せない状況ではあるが、地域の事業所の協力を得て、職場体験活動をととして、生徒に将来の生き方を考える機会を提供したい。 平成30年度 1,543人参加 1,967千円 令和元年度 1,525人参加 1,965千円 令和2年度 中止</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業では、地域で生徒を育むという意識の高揚を図るとともに、学校教育の中に保護者や地域の意見を取り入れることにより、めざす子ども像「ふるさと思い 志をもつ子」の育成や地域社会全体で担う学校教育につなげていく。体験活動日数については、学校裁量とし、今後も事業継続していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	生徒アンケートの肯定的な回答率	117%	119%	119%	117%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、本事業を中止したため。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、本事業を中止したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>中学校・義務教育学校(後期課程)でのキャリア教育の充実や「ふるさと思い 志をもつ子」の育成のため、今後も継続して実施する必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001900	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取市グローバル人材育成事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	2,940人	予算事業コード	01-09-01-03-18-04
予算	予算事業名	鳥取市グローバル人材育成事業費			予算事業コード	01-09-01-03-18-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	次代を担う本市在住の中学2，3年生および義務教育学校後期課程8，9年生
意図 (どのような状態にするために)	多様な文化・歴史に触れ、人々と交流する機会を提供し、国際的感覚の優れた人材の育成
手段 (どうするのか)	英語圏であるオーストラリアに派遣し、現地学校との交流やホームステイ、文化施設等の訪問プログラムを実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①シンガポールに本市在住中学生を10名派遣	①シンガポールに本市在住中学生を20名派遣	①シンガポールに本市在住中学生を20名派遣	①シンガポールに本市在住中学生を20名派遣	①オーストラリアに本市在住中学生を20名派遣
年度別実績	①68名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、シンガポールに派遣。帰国後、事後研修を実施し、報告書を作成。	①57名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、シンガポールに派遣し、現地学校との交流やホームステイ、現地大学生との班別研修等を実施。帰国後、事後研修を実施し、報告書を作成。	①70名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、シンガポールに派遣し、現地学校との交流やホームステイ、現地大学生との班別研修等を実施。帰国後、事後研修を実施し、報告書を作成。	①53名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、オーストラリアに派遣し、現地学校との交流やホームステイ、現地大学生との班別研修等を実施。帰国後、事後研修を実施し、報告書を作成。	①93名の応募者から書類審査により20名を選考。その後、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるため、安全性を確保した事業実施が難しいと判断し、令和2年度のグローバル人材育成事業を中止とした。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	13,829	11,468	11,702	11,830	1,414
	直接経費 A	9,498	7,077	7,356	7,516	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
直接経費の財源内訳	その他	8,014	6,968	7,356	7,516	0
	一般財源	1,484	109	0	0	0
人件費 B	4,331	4,391	4,346	4,314	1,414	
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.20
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]実施中学校数	校	目標	3
			実績	15	13	0	0	0
	(指標の説明) グローバル人材の育成に向けた英語等に特化したモデル校の設置							
2	[KPI]中学生派遣人数	人	目標	10	20	20	20	20
			実績	20	20	20	20	0
	(指標の説明) 中学生の海外派遣							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 校区審議室 0857-30-8405</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P175(教001)</p> <p>【事業の概要】 英語圏域であるオーストラリアに市内在住の中学生を派遣し、現地学校との交流やホームステイ、現地大学生との班別研修、文化施設等の訪問などのプログラムを実施し、多様な文化と歴史に触れる短期間(5日間程度)研修を行う。</p> <p>【事業の成果】 93名の応募者から書類審査により20名を選考した。その後、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるため、安全性を確保した事業実施が難しいと判断し、令和2年度のグローバル人材育成事業を中止とした。中止に際しては、派遣予定だった者に対して、安心安全を優先して考えた上、中止を決定した旨の教育長メッセージを送付した。</p> <p>(事業の実績) 平成30年度：7,356千円 令和元年度：7,516千円 令和2年度：0千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 より実効性を高める研修とするため、派遣先や代替事業の検討など、引き続き本市におけるグローバル人材の育成について様々な手立てを検討していく必要があると考える。</p> <p>その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。 その他財源の諸収入は、参加者負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	【KPI】実施中学校数	500%	433%			
	2	【KPI】中学生派遣人数	200%	100%	100%	100%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるため、安全性を確保した事業実施が難しいと判断し、令和2年度のグローバル人材育成事業を中止とした。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるため、安全性を確保した事業実施が難しいと判断し、令和2年度のグローバル人材育成事業を中止とした。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>多くの応募者があり、本事業の意義や魅力について周知されてきた矢先の事業中止であり、オリンピックとの関連もあり、国際理解教育を充実させる絶好の機会でもあったため中止の決断は大変残念なものであった。引き続き本市におけるグローバル人材の育成について様々な手立てを検討していく必要があると考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	大規模改造事業(小学校)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 令和2年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	2,940人		
予算	予算事業名	大規模改造事業費(小学校)			予算事業コード	01-09-02-03-46-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小学校
意図 (どのような状態にするために)	施設老朽化対策を実施し、安全面・適切な施設機能面の確保を図る。
手段 (どうするのか)	外壁・トイレ等、各所の劣化施設の改修工事

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	①福部未来学園校舎改修・増築実施設計業務	①久松小学校校舎改修設計業務 ②福部未来学園校舎改修・増築工事	①福部未来学園特別教室棟改修工事	①久松小学校校舎改修工事	①福部未来学園外構整備工事 ②江山学園実施設計業務
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	17,920	13,415	166,357	307,024	275,374	
	直接経費 A	13,589	9,024	162,011	302,710	271,131	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	9,031	36,275	25,212
		地方債	12,900	8,500	114,400	176,500	187,400
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	689	524	38,580	89,935	58,519		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	4,314	4,243		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	改修工事実施箇所数	施設	目標	1
	(指標の説明)		実績	1	1	2	1	1
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P176(教003) 12月補正・P31(教002)</p> <p>【事業の概要】 老朽化した施設の大規模改修・改築を行う。</p> <p>【事業の成果】 老朽化が進んでいる江山学園普通教室棟の改修を行うなど、安心・安全な教育環境の確保に努めた。 (事業の実績) 平成30年度 162,011千円 福部未来学園特別教室棟改修工事 令和元年度 302,710千円 久松小校舎改修工事、江山学園整備工事基本設計 令和2年度 271,131千円 江山学園整備実施設計、江山学園普通教室棟長寿命化改良 (外壁)工事〔既存校舎(RC造3階建て、延べ床面積：2,281㎡)の外壁・防水改修工事〕 福部未来学園法面工事</p> <p>【今後の課題・方向性】 安心・安全な教育環境を確保するため、江山学園普通教室棟長寿命化改良工事の令和3年度中の整備完了を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	改修工事実施箇所数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため予防保全的な施設改修は不可欠であると考え。		
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)			

事務事業評価シート

事務事業コード	002200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	不登校対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	不登校対策事業費		予算事業コード	01-09-01-03-12-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小・中・義務教育学校及びその児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市立小・中・義務教育学校の児童生徒における不登校傾向の解消及び未然防止
手段 (どうするか)	鳥取市不登校対策専門委員会で不登校対策について総括的に討議し、不登校等の未然防止と課題解消を推進する。特に地域を含めた中学校区の学校の連携を強め、小中の連続性のある不登校対策、児童生徒支援を行っていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度別実績	①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	7,674	7,753	7,798	7,307	7,147
	直接経費 A	455	434	555	117	76
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	455	434	555	117	76	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	不登校対策専門委員会の実施回数	回	目標	3	3	3	3	3
	(指標の説明) 不登校対策専門委員会の実施回数		実績	3	3	3	3	2
2	スーパーバイザーによる助言指導回数	回	目標	17	17	17	17	17
	(指標の説明) スーパーバイザーが、学校・中学校区へ助言指導した回数		実績	22	20	19	2	2
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】児童生徒支援係 0857-25-3060</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P182(教015)</p> <p>【事業の概要】 不登校をはじめとする学校生活に不安や悩み、困り感を持つ児童生徒は年々増えており、その要因や背景を的確に把握し、学校や関係諸機関とが連携して、組織的、計画的に一人一人の児童生徒に応じた支援を行っていくことが必要になっている。 このため、本市では不登校等の未然防止と個に応じた適切な支援の在り方について、専門機関等と連携して、その対策の強化並びに充実を図ってきている。</p> <p>【事業の成果】 不登校等に関する専門家の活用により、不登校等の児童生徒の適切な支援やその未然防止に係る取組を行う。 不登校対策専門委員会を行い、対策事業を推進する。 不登校対策専門委員会の委員を各学校等へ派遣し、助言や支援を行う。</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3回開催</td> <td>19回派遣</td> <td>555千円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3回開催</td> <td>1回派遣</td> <td>117千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2回開催</td> <td>2回派遣</td> <td>76千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 不登校の出現率は高い傾向にある。不登校対策専門委員会において、その要因や背景を把握し、不登校対策の取組を進めていく。また、個別の事案に対してスーパーバイザー等の活用を図り、児童生徒への適切な支援につなげていく。</p>	平成30年度	3回開催	19回派遣	555千円	令和元年度	3回開催	1回派遣	117千円	令和2年度	2回開催	2回派遣	76千円
平成30年度	3回開催	19回派遣	555千円										
令和元年度	3回開催	1回派遣	117千円										
令和2年度	2回開催	2回派遣	76千円										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	不登校対策専門委員会の実施回数	100%	100%	100%	100%	67%
	2	スーパーバイザーによる助言指導回数	129%	118%	112%	12%	12%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症に係る対応により、3回予定していた不登校対策専門委員会が2回になったため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>不登校対策は未然防止に努めることが重要であり、不登校児童生徒一人ひとりに応じた適切な支援策を講じる必要がある。そのためには、本事業の継続・拡充が必要であると考えている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成19年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	2,940人		
予算	予算事業名 特別支援教育支援員配置事業費				予算事業コード	01-09-01-03-66-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態にするために)	発達障がいなど教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援する。
手段 (どうするのか)	発達障がいなど教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①支援員を配置	平成29年度 ①支援員を配置	平成30年度 ①支援員を配置	平成31年度 ①支援員を配置	令和2年度 ①支援員を配置
	年度別実績	①支援員を配置 H28年度追加配置:6校、7人	①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	55,701	84,093	94,108	100,429	107,920
	直接経費 A	53,535	81,897	91,935	98,272	105,799
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	53,535	81,897	91,935	98,272	105,799
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	2,121	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	嘱託職員	46.00	59.00	64.00	68.00	67.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	支援員配置校数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
			校	目標	52	56	59	59	57	
			実績	46	59	55	55	53		
	(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置校数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】特別支援教育係 0857-30-8562</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P181(教013)</p> <p>【事業の概要】 小・中・義務教育学校において特別な支援を必要とする児童生徒への学校生活上の支援及び学習活動の支援等を行うため、支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>【事業の成果】 特別支援教育支援員を配置することによって、児童生徒一人一人の状況や教育的ニーズに応じた学習指導及び生活指導を担任を補助しながら実施し、該当児童生徒はもとより学級全体の精神的安定、授業や学級経営の円滑な運営を行うことができた。 平成30年度 64人配置 91,935千円 令和元年度 68人配置 98,272千円 令和2年度 67人配置 105,799千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 各学校の実態に応じた支援員の適正配置を行い、資質向上の観点から支援員対象の研修を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	支援員配置校数	88%	105%	93%	93%	93%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>特別支援教育支援員の配置だけでなく、児童生徒相談員や学校生活適応支援員の配置など総合的に勘案し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援となるよう進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002400	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公立環境大学運営費交付金事業		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成24年度～全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	地方独立行政法人法、公立大学法人鳥取環境大学定款
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	その他
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	2,940人		
予算	予算事業名	環境大学運営費交付金			予算事業コード	01-02-01-07-45-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公立大学法人公立鳥取環境大学
意図 (どのような状態にするために)	公立大学法人公立鳥取環境大学の持続可能な運営を行う。
手段 (どうするのか)	公立大学法人公立鳥取環境大学の毎年の運営費の一部を、鳥取県とともに負担する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①大学運営費交付金 512,689千円 (H28年度は運営費交付金に施設整備補助金を含む)	①大学運営費交付金 469,532千円 ②施設整備補助金 51,554千円	①大学運営費交付金 472,536千円 ②施設整備補助金 44,209千円	①大学運営費交付金 458,463千円 ②施設整備補助金 40,688千円	①大学運営費交付金 478,800千円 ②施設整備補助金 47,972千円
年度別実績	①大学運営費交付金 512,399千円 (H28年度は運営費交付金に施設整備補助金を含む)	①大学運営費交付金 467,177千円 ②施設整備補助金 47,285千円	①大学運営費交付金 469,861千円 ②施設整備補助金 43,522千円	①大学運営費交付金 458,290千円 ②施設整備補助金 37,855千円	①大学運営費交付金 484,655千円 ②施設整備補助金 47,555千円	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
直接経費の内訳	事業費(A+B)	516,730	518,852	517,729	500,458	536,454
	直接経費 A	512,399	514,461	513,383	496,144	532,211
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	61,612	47,285	43,522	0	0
一般財源	450,787	467,176	469,861	496,144	532,211	
人件費 B	4,331	4,391	4,346	4,314	4,243	
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]鳥取大学・公立鳥取環境大学市内就職者数	人	目標	216
			実績	258	390	523	649	744
	(指標の説明) 基準値は平成24～26年度の平均。							
2	鳥取環境大学入学者数	人	目標	276	276	276	276	276
			実績	291	320	291	299	306
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P27(企006)</p> <p>【事業の概要】 新生公立鳥取環境大学運営協議会を通じて大学の経営状態等チェックし、必要な指示等を行うとともに、地方交付税の範囲内で鳥取県とともに当該大学法人に対する大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付することにより、公立鳥取環境大学の安定的な運営を確保する。また、令和2年度から始まる修学支援新制度(高等教育の無償化)にかかる経費について、大学運営費交付金(修学支援新制度分)として交付する。</p> <p>【事業の成果】 大学運営費交付金を交付することにより、大学の安定運営を図った。 また、国における高等教育修学支援制度により、授業料等無償化(減免)にかかる経費を交付することにより、経済的理由により修学が困難な学生の学びの継続につながった。 施設整備費補助金により、以下の施設整備を行った。 ・本部講義棟・情報処理棟エアコン更新工事 ・学生センターエアコン更新工事</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">運営費交付金</td> <td style="text-align: center;">施設整備補助金</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">469,862千円</td> <td style="text-align: center;">43,523千円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">458,289千円</td> <td style="text-align: center;">37,855千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">484,656千円</td> <td style="text-align: center;">47,555千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 大学の安定的な運営の確保に必要な事業である。大学開設後20年が経過し、施設の大規模修繕の必要性が生じており、年次的に対応していく必要がある。</p>		運営費交付金	施設整備補助金	平成30年度	469,862千円	43,523千円	令和元年度	458,289千円	37,855千円	令和2年度	484,656千円	47,555千円
		運営費交付金	施設整備補助金										
平成30年度	469,862千円	43,523千円											
令和元年度	458,289千円	37,855千円											
令和2年度	484,656千円	47,555千円											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]鳥取大学・公立鳥取環境大学市内就職者数	119%	120%	121%	120%	115%
	2	鳥取環境大学入学者数	105%	116%	105%	108%	111%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN-DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>令和2年度は市内企業への就職者数が減少した。大学と連携し、鳥取市への定住の魅力を伝えていくなど市内就職者数を増加させる一層の努力が必要である。また、大学開設後20年が経過し、施設の大規模修繕の必要性が生じており、年次的に対応していく必要がある。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002500	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	看護学生就職支援事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成25年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	補助金交付
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	看護職員実習指導者養成支援事業費		予算事業コード	01-04-01-01-27-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域医療機関等
意図 (どのような状態にするために)	実習病院の不足解消につなげる。
手段 (どうするのか)	看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関等に受講者の受講期間の基本給の一部を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①対象病院等への補助金交付	①対象病院等への補助金交付	①対象病院等への補助金交付	①対象病院等への補助金交付	①対象病院等への補助金交付	
年度別実績		①対象病院等への補助金交付	①対象病院等への補助金交付	①対象病院等への補助金交付	①対象病院等への補助金交付 ・2病院 計659,000円	①新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,202	3,040	3,440	1,809	1,131	
	直接経費 A	2,047	1,869	2,281	659	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,047	1,869	2,281	0	0
一般財源	0	0	0	659	0		
人件費 B	1,155	1,171	1,159	1,150	1,131		
職員数の内訳	正規職員	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI]鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療機関等への就職率	%	目標	0	70	70	70	70
				実績	0	72.9	56.5	50
2	(指標の説明) 対象受講者数	人	目標	15	15	12	12	12
				実績	13	13	13	3
3	(指標の説明) 補助金交付対象となる受講者の人数		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-22-5163</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P71(健004)</p> <p>【事業の概要】 補助金名：鳥取市看護職員実習指導者養成支援事業補助金 目的：鳥取市では市民の健康を守る上でも現在及び将来にわたっての看護師不足解消のため新たな看護師養成所の誘致に取り組み、平成27年4月1日、鳥取市医療看護専門学校が開校。実習指導者養成講習会の受講支援をすることにより、実習病院の不足解消を図る。 内容：県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関等(鳥取県知事が開設するものは除く)に受講者の受講期間(約2か月)の基本給の一部を補助 ・受講者1人につき30万円(上限)補助 ・鳥取市立病院は、令和元年度から繰出金で対応</p> <p>【事業の成果】 平成30年度実績 補助金額 2,281千円(補助対象者数 13人) 令和元年度実績 補助金額 659千円(補助対象者数 3人) 令和2年度実績 補助金額 0千円(新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止)</p> <p>【今後の課題・方向性】 臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、新型コロナウイルス感染症の対策を図り、引き続き事業を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療機関等への就職率		104%	81%	71%	80%
	2	対象受講者数	87%	87%	108%	25%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	県内就職は7割を超えているが、本市以外の出身学生の増加に伴い、市外・県外への就職者が増加している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>看護師等養成所の臨地実習を行う医療機関等の看護職員実習指導者の確保を図り、臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	校務支援事業	所属名	教育委員会事務局 学校教育課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	外部委託
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	校務支援事業費			予算事業コード	01-09-01-03-25-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校教職員
意図 (どのような状態にするために)	きめ細かな指導を可能とするため必要な情報を共有し、さらに、校務の負担を軽減することで、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。
手段 (どうするのか)	教員が担うべき業務に専念できる環境整備することが求められ、その一つとして「統合型校務支援システムの整備」を市内全小中学校に導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校で導入する。	平成29年度 ①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校で導入する。	平成30年度 ①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	平成31年度 ①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	令和2年度 ①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。
	年度別実績	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校8校で導入した。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの県内統一の様式を協議検討し、決定した。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの県内統一の様式を決定し、システムの運用を開始した。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの運用	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの運用
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	8,292	42,594	19,687	19,305	18,374
	直接経費 A	1,073	35,275	12,444	12,115	12,180
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,073	35,275	12,444	12,115	12,180	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	校務支援システムの全校導入	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		目標	校		8	60	0	0	0	
		実績			8	60	0	0	0	
	(指標の説明) 校務支援システムの全校導入									
	2	校務支援システムの運用	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		目標			0	0	58	58	56	
実績				0	0	58	58	56		
(指標の説明) 校務支援システムの運用										
3		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
	目標			0	0	0	0	0		
	実績			0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P183(教018)</p> <p>【事業の概要】 国は学校現場における業務の適正化に向けて業務改善のためのタスクフォース報告(H28年6月)を示し、各自治体に対し教員が担うべき業務に専念できる環境整備すること求められ、県内統一で整備した校務支援システムの全校展開による事務処理の統一化及び情報共有を進め、教職員等学校関係者が必要な情報を共有し、児童生徒へのきめ細かな指導を可能とする。</p> <p>【事業の成果】 グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する学校業務支援システムの導入が全県で決まり、平成30年4月から市内全小・中・義務教育学校で稼働中である。</p> <p>【今後の課題・方向性】 校務の負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	校務支援システムの全校導入	100%	100%			
	2	校務支援システムの運用			100%	100%	100%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>活用のバリエーションを増やすことで、さらに校務の負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「教員の業務改善」を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校給食食物アレルギー対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	
予算	予算事業名	学校給食食物アレルギー対策事業費		予算事業コード	01-09-05-03-06-08	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鶏卵と乳を食物アレルギーとする児童生徒(アナフィラキシー既往なし)
意図 (どのような状態にするために)	食物アレルギーを有する児童生徒が、他の生徒と同じように給食時間を安全に、楽しく過ごせる機会を増やし、 食育としての学校給食の効果を高めるために実施。
手段 (どうするのか)	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 24人×3回/月	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②WG開催 マニュアル見直し・改定 25人×3回/月 ②WG開催 マニュアルの見直し検討	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②学校生活管理指導表導入 42人×3回/月 ②学校生活管理指導表導入 検討委員会を開催し、学校生活管理指導表の導入を決定、平成31年度の申込受付から配布を開始	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②アナフィラキシー既往歴のある児童生徒に対し、医師により「除去食・代替食を食べさせてよい」と診断された場合、除去食・代替食希望者の対応を行う 44人×3回/月 ②学校給食マニュアルを改訂し、令和2年度よりアナフィラキシー既往歴のある児童生徒も医師の診断により除去食・代替食希望者の対応を開始
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	1,604	1,565	1,551	1,648	1,539
	直接経費 A	160	101	102	210	125
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
職員数の内訳	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	160	101	102	210	125
職員数の内訳	人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	1,414
	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	%	目標	100
	(指標の説明) アレルギー食材を使用した給食数のうち、対象児童に提供した除去食・代替食の割合		実績	100	100	100	100	100
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417</p> <p>【10次総の施策体形】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 1 アレルギー対応が必要な児童生徒の調査の実施、対応食の提供 2 アレルギー対応に必要な調理業務の委託</p> <p>【事業の成果】 1 アレルギー対応給食の提供を行うため、調理業務の委託を実施 2 検討委員会を開催し、「生活管理指導表」を見直し、食物アレルギー対応マニュアルを改訂。 平成30年度 102千円 令和元年度 210千円 令和2年度 125千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 1 アレルギー対応給食の実施上の諸課題について、整理・検討を図る</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	アレルギー対応給食の実施上の諸課題について、整理・検討を図る。		

事務事業評価シート

事務事業コード	032400	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校維持補修事業(中学校・大規模)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修費(中学校・大規模)			予算事業コード	01-09-03-01-07-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小中義務教育学校
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	学校生活に支障が生じている施設の改修、予防保全に係る改良工事を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	空調設備設置工事(国府中、江山中、高草中)	①中ノ郷中空調設備実施設計業務 ②屋根改修実施設計業務 ③中ノ郷中屋内運動場屋根改修工事	①中ノ郷中・鹿野学園空調設備工事 ②青谷中学校・鹿野学園施設防水対策工事	改修が必要となる施設等についての検討	①国府中学校受水槽及び高架水槽修繕
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	117,745	719	24,011	
	直接経費 A	0	0	113,399	0	21,890	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	84,700	0	3,300
		その他	0	0	0	0	11,168
一般財源	0	0	28,699	0	7,422		
人件費 B	0	0	4,346	719	2,121		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.60	0.10	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	改修等事業進捗	%	目標	100
	(指標の説明)		実績	100	100	100	0	100
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：9月補正・P36(教002)</p> <p>【事業の概要】 経年劣化により機能性・安全性に支障が生じている施設の機能回復を図る。また、県事業の実施の際に支障となる物件の移設等を行う。</p> <p>【事業の成果】 国府中学校受水槽等の修繕及び千代南中学校防球フェンス等の整備業務を実施した。 (事業の実績) 令和2年度 21,891千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 安心・安全な教育環境の確保を図るため、改修・予防保全に係る計画的な事業の実施が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	改修等事業進捗	100%	100%	100%		100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>適切な教育環境の確保にあたり、老朽化が進行している施設改修等は不可欠であると考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032500	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	小中学校空調設備整備事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 令和2年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名		2,321人	2,940人	予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中義務教育学校
意図 (どのような状態にするために)	令和元年度中に全ての普通教室に空調設備を設置
手段 (どうするのか)	早急な整備を図るため、設計施工一括方式による民間のノウハウを活用した整備を実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			空調設備整備に係る公募型プロポーザルを実施	鳥取市立学校空調設備整備事業整備工事(1工区、2工区、3工区)	未設置校への空調整備を実施	
	年度別実績			空調設備整備に係る公募型プロポーザルを実施	鳥取市立学校空調設備整備事業整備工事(1工区、2工区、3工区)	未設置校への空調整備を実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	10,865	2,017,574	48,199	
	直接経費 A	0	0	0	1,999,599	46,785	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	321,798	0
		地方債	0	0	0	1,674,000	35,000
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	3,801	11,785	
人件費 B	0	0	10,865	17,975	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.50	2.50	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	普通教室空調設備整備事業進捗	%	目標	0	0	100	100	100
		実績		0	0	100	98	100	
	(指標の説明)								
	2		目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 災害ともいえる猛暑を受け、児童・生徒等の健康被害を及ぼさないよう、小・中・義務教育学校の全普通教室に空調設備を設置する。</p> <p>【事業の成果】 本事業の実施により、児童・生徒の健康管理や学習環境の改善が図られた。 (事業の実績) 平成30年度 公募型プロポーザルの実施 令和元年度 鳥取市立学校空調設備整備事業(1工区、2工区、3工区) 1,889,630千円 令和2年度 湖東中学校普通教室空調設置工事 46,486千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、児童生徒の健康管理や学習環境の改善を図るための施設整備を進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	普通教室空調設備整備事業進捗			100%	98%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>全小・中・義務教育学校の普通教室への空調設備の整備が完了した。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032600	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校増改築事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成29年度 ~ 令和3年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	2,940人		
予算	予算事業名	中学校増改築事業費			予算事業コード	01-09-03-03-33-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	南中学校の武道場と校舎（管理・特別棟）
意図 (どのような状態 にするために)	安心・安全な施設環境と、生徒数増加に伴う教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	耐震性の無い武道場を改築し安全な施設環境と、既存校舎（管理・特別棟）を改築し生徒増に伴う教育環境の確保を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画		①南中学校武道場実施設計業務 ②南中学校校舎改築基本設計	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築実施設計	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築実施設計 ③南中学校校舎解体工事	①南中学校管理棟改修工事 ②南中学校管理・特別教室棟増改築工事	
	年度別実績		①南中学校武道場実施設計業務 ②南中学校校舎改築基本設計	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築実施設計	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築実施設計 ③南中学校校舎解体工事	①南中学校管理棟改修工事(1期分) ②南中学校管理・特別教室棟増改築工事(1期分)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	2,928	157,811	372,040	830,272	
	直接経費 A	0	0	154,189	367,726	826,736	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	8,210	10,937	4,886
		地方債	0	0	129,300	296,100	604,400
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	16,679	60,689	217,450		
人件費 B	0	2,928	3,622	4,314	3,536		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.40	0.50	0.60	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	南中学校校舎等改築事業進捗	%	目標	0	100	100	100	100
		実績		0	100	70	100	100	
	(指標の説明)								
	2		目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P177(教006)</p> <p>【事業の概要】 耐震化に伴う武道場の整備に併せ、生徒数増加に対応した校舎の増改築工事等を実施する。</p> <p>【事業の成果】 生徒数増加に対応するため、南中学校管理棟改修工事、南中学校管理・特別教室棟増築工事を実施した。</p> <p>(事業の実績) 平成30年度 154,189千円 南中学校武道場改築工事、校舎増改築実施設計業務 令和元年度 335,317千円 南中学校武道場改築工事、南中学校管理・特別教室棟解体工事等 令和2年度 826,736千円 南中学校管理棟改修工事〔RC造 4階建て 延床面積：1,295.33㎡〕、南中学校管理・特別教室棟増築工事〔鉄骨造 4階建て 延べ床面積：3,455.28㎡〕</p> <p>【今後の課題・方向性】 生徒数増加に対応した教育環境を確保するため、令和3年度中の整備完了を目指し、事業を継続して実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	南中学校校舎等改築事業進捗		100%	70%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>安心・安全な施設環境を図るとともに、今後の生徒数増加に対応するための教育環境の確保に必要な整備を実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032701	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校維持補修事業(小学校・通常)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修費(小学校・通常)		予算事業コード	01-09-02-01-04-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小学校
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	施設の不具合について修繕を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	
年度別実績		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	53,090	66,601	72,891	69,216	82,894	
	直接経費 A	48,759	62,210	68,545	66,340	78,651	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	22,877	10,867	10,409	10,381	10,686
一般財源	25,882	51,343	58,136	55,959	67,965		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	2,876	4,243		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.40	0.60	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	トイレ洋式化修繕箇所	校	目標	0	0	19	2	2
			実績	0	0	19	2	2
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：12月補正予算・P31(教001)</p> <p>【事業の概要】 各小学校に日常的に発生する施設の不具合について修繕を行うことによって、安全かつ快適な教育環境を確保する。 また、消防用設備のうち耐用年数の経過した消火栓ホース及び消火器を更新することにより、火災等の災害時における屋内消火栓設備機能の信用性を確保する。</p> <p>【事業の成果】 事業実施により、安心・安全かつ快適な教育環境が確保された。 (事業の実績) 消耗品費：床ワックス、蛍光灯、校庭の土 ほか 修繕費：硝子修理、経年劣化による各種設備の更新 ほか 備品購入費：消火器、消火栓ホース</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、適切に施設修繕等を実施することで、建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防いでいく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	トイレ洋式化修繕箇所			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため、施設修繕等は不可欠であると考え。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032702	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校維持補修事業(中学校・通常)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修費(中学校・通常)		予算事業コード	01-09-03-01-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各中学校
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	施設の不具合について修繕を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費
年度別実績		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	28,347	42,553	29,236	29,131	36,979	
	直接経費 A	24,016	38,162	24,890	26,255	32,736	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	11,548	5,107	5,807	5,459	4,526
一般財源	12,468	33,055	19,083	20,796	28,210		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	2,876	4,243		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.40	0.60	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	トイレ洋式化修繕箇所	校	目標	0	0	1	2	2
				実績	0	0	1	2
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：12月補正予算・P32(教003)</p> <p>【事業の概要】 各中学校に日常的に発生する施設の不具合について修繕を行うことによって、安全かつ快適な教育環境を確保する。 また、消防用設備のうち耐用年数の経過した消火栓ホース及び消火器を更新することにより、火災等の災害時における屋内消火栓設備機能の信用性を確保する。</p> <p>【事業の成果】 事業実施により、安心・安全かつ快適な教育環境が確保された。 (事業の実績) 消耗品費：床ワックス、蛍光灯、校庭の土 ほか 修繕費：硝子修理、経年劣化による各種設備の更新 ほか 備品購入費：消火器、消火栓ホース</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、適切に施設修繕等を実施することで、建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防いでいく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	トイレ洋式化修繕箇所			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため、施設修繕等は不可欠であると考え。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032800	重点施策	ひとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	小中学校施設長寿命化事業(仮称)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 令和6年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖東中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	老朽した校舎の耐久性を高め、建物の機能や性能を現在の教育環境に適した水準まで引き上げる。
手段 (どうするのか)	校舎の長寿命化改良工事を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			①長寿命化改良設計業務	①長寿命化改良設計業務	①長寿命化改良工事	
	年度別実績			①長寿命化改良設計業務	①長寿命化改良設計業務 ②普通教室空調設備設置工事の発注	①普通教室空調設備設置工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	12,737	29,956	48,199	
	直接経費 A	0	0	9,840	28,518	46,785	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	8,800	25,600	35,000
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	1,040	2,918	11,785		
人件費 B	0	0	2,897	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.40	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	長寿命化改良事業進捗率	%	目標	0	0	0.5	0.5	40	
				実績	0	0	0.5	0.5	1	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の概要】 構造体の耐久性の向上やライフラインの健全化、また、現代の社会的要請に応じた多様な学習内容等による教育環境を確保し施設の長寿命化を図る。</p> <p>【事業の成果】 予算の平準化を図るため、長寿命化事業に含まれる空調設備設置工事を先行して実施した。</p> <p>(事業の実績) 平成30年度 湖東中学校長寿命化改良実施設計業務 9,840千円 令和2年度 湖東中学校普通教室空調設備設置工事 46,486千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 予算の平準化を踏まえた長寿命化改良工事の整備計画をたて、早期着手を目指す必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	長寿命化改良事業進捗率			100%	100%	3%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>予算の平準化を図るため、長寿命化事業に含まれる空調設備設置工事を先行実施することとしたため。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>予算の平準化を図るため、長寿命化事業に含まれる空調設備設置工事を先行実施することとしたため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>学校施設の維持管理・大規模な改修等には多額の費用が必要となることが想定されることから、学校施設の現状と課題を把握し、総合的な観点からコストの縮減や予算の平準化を図り、事業を進めることが重要である。</p>		